

# あなたと 青山学院

地の塩、世の光  
The Salt of the Earth, The Light of the World  
青山学院スクール・モットー

35万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」  
July 2018 No.27

今号の聖句

あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。

出エジプト記 20章3節

## 青山学院第15代院長 就任あいさつ

青山学院の源流となる3つの学校を創設したドーラ・E・スーンメーカー、ジュリアス・ソーパー、ロバート・S・マクレイの3人の宣教師は、140余年前の激動の時代に女子教育、外国語教育、キリスト教教育をもたらしたとも言えます。それは、当時の日本に欠けていたもの、日本が求めていたもの、宣教師が真に伝えたいものであったように思われます。そして、そのどれもが先進的で独自性を持った教育でありました。

急速に進む社会のグローバル化やAIの進化に伴い、教育改革が喫緊の課題と叫ばれている現在、青山学院が先進性と独自性を失ってはなりません。英語教育はもちろんのこと、来るべき世界で求められている、



青山学院 院長 山本 与志春

主体的な思考力、判断力、表現力、共に生きる力を修得させるために、ICTに代表される教育環境の整備や新たな教育プログラムの開発は、積極的に推進しなければなりません。社会が求める教育を提供することは青山学院の大切な役割です。

しかし、社会の変革が一部の人に幸せをもたらすだけで、他の人々の不幸や差別、抑圧、命の危険の上に進められてはなりません。誰もが存在することの尊厳を守られる、平和な世界を目指す人を育てることが青山学院の教育です。この観点は欠くことのできないことです。

そして、世界がどんなに変化しても変えてはならないもの、青山学院が最も大切にしてきたもの、これからも大切にしていかなければならないものは、学校法人青山

学院寄附行為第4条「青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰に基づいて、行わなければならない。」との建学の精神に他なりません。この建学の精神は、144年の長きにわたり先人が多くの困難と闘いながら、固く守り通してきたものです。キリスト教信仰に基づく教育とは、聖書の言葉に裏打ちされた、一人ひとりを大切に教育です。その人に与えられているよい賜物を探し出し、十分に磨き上げること。その賜物を人の幸せのために用いることを喜びとする人を育てることです。それは、「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから」「その賜物を生かして互いに仕えなさい。」(ペトロの手紙 - 4章10節)との聖書の言葉に従う、「Be the Difference」、サーバント・リーダーとしての生き方です。

青山学院で学ぶ者、教職員、校友、保護者・保証人の皆さま、関係する全ての方が、それぞれの賜物を他の人のためにささげる喜びに満たされながら仕え合うときに、青山学院は新たな力を受けて驚のように上ることができると信じます。

「主に望みをおく人は新たな力を得 驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。」 イザヤ書 40章31節

### 山本 与志春 (やまもと よしはる) 院長プロフィール

1957年生まれ  
1980年3月 駒澤大学文学部国文学科卒業  
1980年4月 埼玉県川口市立領家中学校教諭  
1990年4月 青山学院中等部教諭  
2006年4月 青山学院中等部部长  
2014年4月 学校法人青山学院 常務理事  
2018年7月 青山学院院長に就任(任期:2018年7月1日~2022年6月30日)

※就任式の模様は、次号にて報告いたします。

## 青山学院緑岡幼稚園 創立80周年記念礼拝・記念会開催

3月22日(木)11時30分より、本部礼拝堂(チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂)において、卒園生(緑岡幼稚園同窓会)の皆さまや、いとすぎの会(幼稚園同窓会)の歴代会長の皆さま、歴代の幼稚園主事の先生方や学院関係者が出席し、青山学院緑岡幼稚園創立80周年記念礼拝が執り行われました。

司式は、5回生の藤村和義氏(渋谷教会牧師)が務められ、緑岡幼稚園で毎朝歌われた讃美歌454番「うるわしきあさも」を賛美した後、聖書「フィリピの信徒への手紙 第4章10~14節」が朗読され、祈禱をささげたのち、1回生の藤井多恵子氏の独唱「ちいさなひとびとの」「ことりたちは」が披露されました。

そして、青山学院名誉院長である深町正信先生より「いかなる場合にも対処する秘訣」と題した説教があり、使徒パウロの話を引用し「主イエスを信じることで、どのような境遇にあっても自由に力強く生きることができるのです。緑岡幼稚園の卒園生の皆さまは、戦前・中・後とさまざまな人生を歩んでいらっしゃったことでしょう。神様に導かれた人生でありました。神に感謝をささげましょう」と述べられました。

その後、一同で讃美歌492番「かみのめぐみはいとたかし」、頌栄541番「ちちみこ みたまの」を賛美し、深町先生による祝禱をもって記念礼拝は終了しました。

記念礼拝終了後、梅津順一院長・園長よりあいさつがあり、「1937年に創立され、戦争の影響で1944年に中断を余儀なくされましたが、創立にあたっての当時の阿

部義宗院長、米山梅吉夫妻の教育に対する熱意に感銘を受けます。神様への信仰がこれからの青山学院幼稚園を支え続けることでしょ」と述べられました。また、2回生の飯塚寛緑岡幼稚園同窓会会長からも、緑岡幼稚園と同窓会の歴史に触れたあいさつがあり、同会を可能なかぎり存続し、歴史をつなぐ努力をしていきたい旨が述べられました。

間島記念館前での記念撮影ののち、会場をアイビーホールに移し、記念会が催されました。



深町 正信名誉院長



梅津 順一院長・園長



記念礼拝

※関連記事が7面に掲載されています。

### CONTENTS

学校法人	青山学院第15代院長 就任あいさつ、青山学院緑岡幼稚園 創立80周年記念礼拝・記念会開催	1
学校法人	座談会／プログラミングと初等部教育	2
学校法人	箱根駅伝四連覇祝勝会、今号の聖句	3
学校法人	トピックス	4
学校法人	青学ニュース	5
校友会	支部ニュース	6
校友会	部会・同窓会ニュース	7

校友会	アイビーグループニュース	10
校友会	青学商店街	12
校友会	あこのころ・そして・いま／医師 岡松 孝男さん	13
学校法人	Useful Information	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部ニュース	16